

平成9年9月17日

# たんぽぽ通信



1997 9月17日

第5号

■発行 社会福祉法人 神東会  
特別養護老人ホームたんぽぽ苑

岐阜県吉城郡神岡町大字東町690番地の1  
TEL (0578) 2-6500 FAX (0578) 2-6531



坂巻公園にて

## 「地域ボランティア活動」

澄み渡った青空の中、五月二十五日のハイキングに同級会「飛躍会」の皆さんがボランティアとして参加して下さった光景です。

今、地域社会において少しずつ「ボランティア活動」に対する関心が高まってきています。事実、当施設においても沢山のボランティアの方々にお世話になっておりますが、その一方では「ボランティアって何」「ボランティア活動ってどんな事するの」とおっしゃる方々が多い事も確かです。

そもそもボランティア活動とは、だれもが人間らしく豊かに暮らしていける社会を目指し、自分の身近なところで、日々の生活の中でできることを考え、自発的に行動することを目的としています。そこには当然ルールもあり、「独善的にならない」「報酬や代償を求めない」「約束を守り行動には責任を持つ」などがあります。

とにかく無理をせず、他からの強制ではなく自分の意志で楽しくやる事がボランティア活動を行う上で一番大切なことではないでしょうか。



# Work Camp

9,8,6 ~ 8,7



Work Campのみなさん

この夏、神岡中学校生徒七名、飛騨神岡高等学校生徒六名と、計十三名の参加による一泊二日のワークキャンプを開催しました。今回のこの事業は施設の業務内容を学生さん等に体験してもらいながら、お年寄りとのふれあいをもって頂こうというもので、車椅子の取り扱い方から苑生との会食や介助、又インスタントシニア体験、デイサービスセンターの納涼祭参加など、盛りだくさんの内容でした。

以下はその参加者の感想です。☆「老人ホーム」というとさみしい(?) ようなイメージがあったけど、たんぼぼ苑はと



デイ納涼祭にて

でも明るく、おじいちゃん、おばあちゃん、働いている人、みんな楽しんで生活されているという気がしました。

☆ボランティアの大切さや難しさもわかり、自分のためのボランティア、同等の立場でのボランティアについて考えていきたい。

☆最近、福祉の設備が良くなってきているけど、インスタントシニア体験では、電話帳などを見るとときすごく大変だったし、普通の電話でも聞こえづらい



車椅子の指導



インスタントシニア体験

など、細かいところで工夫しなければならぬことが多いと思いました。

☆将来は福祉の仕事に就きたいと思っているんだけど、寮母さん達の動きを見てもすごく大変だと思いました。外見からみると楽しくみえるけど中はすごく大変だと言うことが分かりました。

☆「この仕事に就きたい」という気持ちが強くなりました。



料理サークル



お年寄り達と一緒に食事

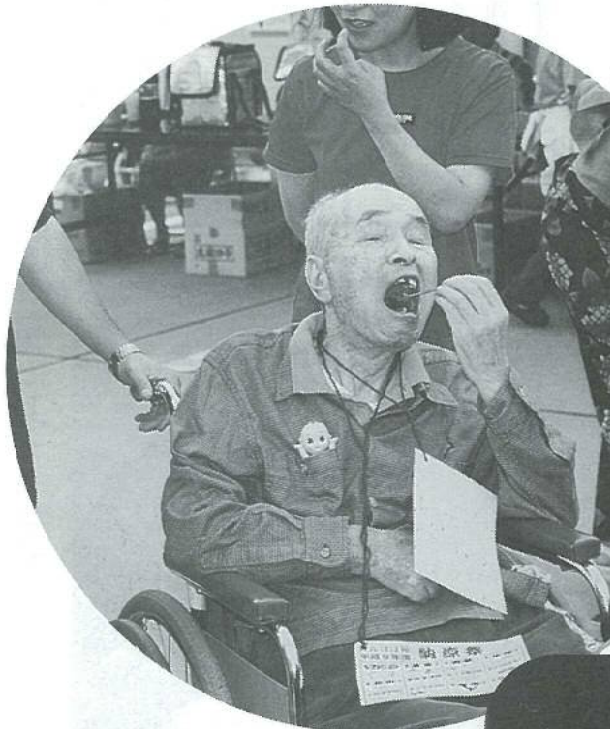


# 夏

## の思い出

おいしかった・たのしかった

八月十六日(土)に、たんぼぼ苑納涼祭が行われました。地域の方の参加や、入苑者の家族の参加がとて多かった事や、ボランティアの皆さんの協力のおかげで去年を上回るにぎやかさになり、ここにきてやっとこの納涼祭も定着しつつある事を感じました。今年もたくさん笑顔がありその中の一部ですが皆さんに見てもらいたいと思います。



87.8.16





# ボランティアのみなさん いつもお世話になってます。

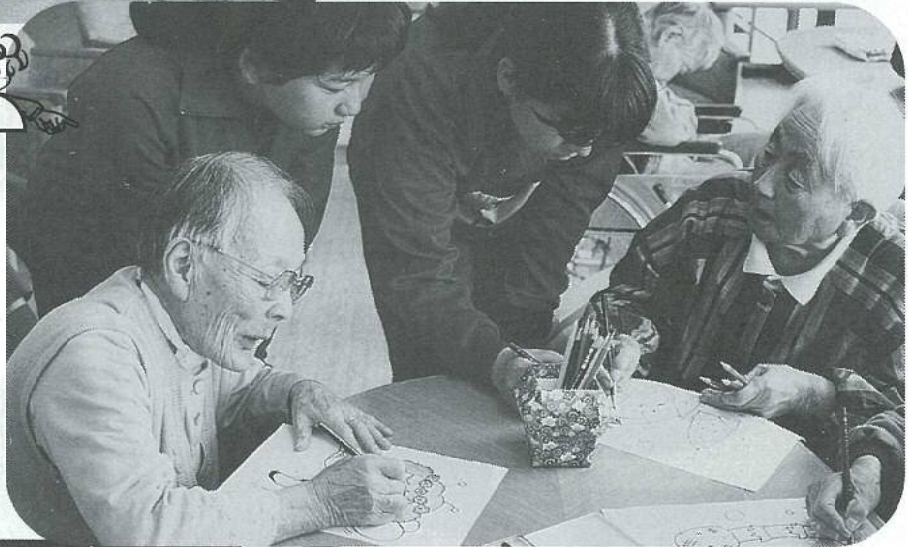
(たんぽぽ苑花壇にて)



どんな感じで植えて  
いこうか……  
そうだね……と飛騨  
神岡高校のみなさん

たんぽぽ苑を支えて下さっ  
ているボランティアの皆さ  
んの一コマをご紹介しま  
す。

(二階リビングにて)



神岡中学校ボランティアクラ  
ブのみなさんが慰問に来てくれ  
ました。  
おじいちゃん・おばあちゃん  
ここは何色で塗ればいいの？  
何色でもいいよ！好きな色で  
塗って！



(ハイキングにて)



今回は坂巻公園に  
やって来ました。  
青空の下で食べるお弁当は  
もう最高！  
おばあちゃんおいしいかな…  
うん・うんおいしいよ…  
(調理員さんありがとう)





ボランティアの皆さん

ご協力本当にありがとうございます

(若菜会と坂上社中の  
みなさんによる演奏)  
いきがピッタリ！  
とても素敵な琴と尺八の  
演奏でした。



(家族交流会にて)

## 正常な動きにおけるポイント

- ① 若く身体が柔軟な者の場合、まっすぐに起きることが出来る場合もある。
- ② 起き上がる際は、まずやや横を向き、頭と首で動作を導いている。
- ③ 肘・手をつき、それを支点としている。
- ④ 頭はへそを見るようにして前方に持ちあげ（膝より前方にある）半回転しながら顔を上げている。

## 介護技術

仰臥位  
から座位

～ベット編～

### 介護の手順

- ① 肘関節で利用者の頸部を保護しながら手で肩甲部を支える。利用者の左手はおなかの上に置く。右手は伸ばしておく。



- ② 介護者は利用者の足元の方に向く。左肘をつきテコにして上半身を手前に向ける。その時前側の足から後側の足に体重移動する。



- ③ 一方の手は利用者の肘に近い前腕を押さえ支点とする。右足を斜め前方に踏み出しながら利用者を手前に引きカーブを描くように起こす。



- ④ さらに体重を前方に移動して、利用者の上体を起こす。



- ⑤ 安定した座位が保てるように、背中にバックレストや座いす、毛布、クッション、座布団等をあてる。同様に膝下にもあてる（患側へ上半身が倒れるような場合は、ロール巻きにしたバスタオルを左右に立てて入れ固定する）。



# 「たんぽぽ苑」運営基金・物品篤志寄付

平成九年三月から平成九年八月までに次の方々から「たんぽぽ苑」へご寄付が寄せられました。寄付金はたんぽぽ苑運営の大切な基金として、又物品は入苑者の方々に有効に使用させていただきます。心からお礼申し上げます。(敬称略)

## 《寄付金》

合計一、〇八九、六九六円

▽島田 薫(江馬)

篤志寄付

▽九 会

三十周年記念募金を篤志寄付

付

▽川田豊久(栄)

亡母五・七忌明けにあたり

▽井下みつ子(坂富)

亡夫の香典の一部を福祉に

▽榎木一男(山田)

篤志寄付

▽福森米三(坂富)

篤志寄付

▽島 倭子(緑ヶ丘)

篤志寄付

▽田中福太郎(相生)

米寿を迎え

▽野中和子(上小萱)

篤志寄付

▽倉田作意(山田)

篤志寄付

▽塚本 忍(東京都)

篤志寄付

▽神岡キリスト教会婦人部

施設慰問の折

▽大坪周平(江馬)

篤志寄付

▽丸亀美智子(江馬)

快気祝いとして

▽板倉芳夫(東雲下)

篤志寄付

▽下垣力造(吉田)

篤志寄付

▽野中和子(上小萱)

篤志寄付

▽山口昌平(堀川)

篤志寄付

▽寺田喜太郎(山田)

篤志寄付

▽田中福太郎(相生)

篤志寄付

## 《物品寄付》

▽金田幸夫(仲町) ▽田村清子(橋場)

▽橋尾婦人会(上宝村) ▽山本清一(殿本町)

▽神岡中学校福祉クラブ(桜ヶ丘) ▽大森旭道(本町)

▽東小学校四年一組ボランティア部(殿)

▽野中和子(上小萱) ▽川原義一(山田)

▽水口健二(各務原市) ▽兜谷直秀(朝浦)

▽南吉城地区婦人民生委員(南吉城)

▽高野シズ(仲町) ▽高田カナエ(上宝村)

▽谷村スエ(昭和町) ▽神岡キリスト教会婦人部(玉川)

▽島田薫(江馬) ▽宮垣芳雄(寺林)

▽古田初太郎(白山) ▽井口健太郎(西)

▽田口末蔵(桜町) ▽巢之内武(緑ヶ丘)

▽高島ゆき(朝日) ▽葡萄酒原俊雄(新富)

▽河上理容店(末広) ▽三井大輔(数河)

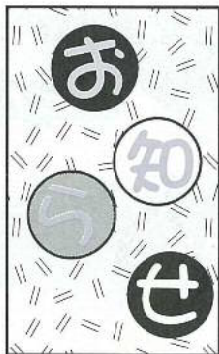
▽岩根きみ江(上宝村) ▽荒垣和博(館野町)

▽大坪製菓店(上今) ▽光家フミ江(下今)

▽房友博(中山) ▽杉浦良一(上今)

▽田中正人(大島) ▽早稲田淳子(白山)

▽河上義一(吉田)



○平成九年十月十日(金)たんぽぽ苑大運動会を開催します。

職員が仮装しての応援合戦、パン食い競争、玉入合戦、風船割りゲームなど、趣向を凝らした競技の数々。

スポーツの秋、日頃の運動不足解消のため、家族の方の参加をお待ちしております。

○たんぽぽ苑では、定期的な活動を支援していただけるボランティアを求めています。特に

・貼り絵サークル

・紙すきサークル

・生け花サークル

・ご詠歌サークル

・料理サークル

・紙粘土サークル

## はじめました。

今年四月より月一回の居酒屋を始めました。

今までは苑内で開店をしていたのですが、七月はビアガーデンを苑の中庭で行いました。職員、ボランティアの協力もあって、とても楽しくなりました。(メニュー)

## 居酒屋 “よっていかんかな” を

- ・ビール
- ・梅酒
- ・枝豆
- ・フライドポテト
- ・スナック菓子等
- ・カラオケ歌い放題



といったお年寄りのサークル活動にご協力いただける方がありましたらお願いします。(電話二一六五〇〇)

○在宅介護支援センターたんぽぽ苑では、自宅で生活されてみえるお年寄りについてのあらゆるご相談をお受け致します。

・車椅子を借りたい。  
・特殊ベットが欲しい。  
・デイサービスを利用したい。  
・病院退院後の生活について。  
などなど、お気軽にお電話下さい。(電話一六五四一)

